

## 第 4 回日中韓観光大臣会合の結果（概要）について

### 1. 概要

- ・日中韓の観光交流と協力の一層の強化、地域経済の繁栄等を目的として、2006年（日本・北海道）から毎年開催。
- ・4回目となる今回の会合は、2009年10月17日（土）～19日（月）に日本の中部地域（主会場；名古屋、高山）で開催。
- ・日本から前原国土交通大臣・観光立国担当大臣と辻元副大臣、中国から邵琪偉（ショウ・キイ）国家旅游局局長、韓国から柳仁村（ユ・インチョン）文化体育観光部長官が出席。
- ・各国の民間観光関係団体・事業者もそれぞれ100名程度参加。

### 2. 三大臣会合（10/18）

⇒別添の「共同声明」をとりまとめ。

### 3. 併せて開催された二国間会談

#### (1) 日中間（10/18）

- ・前原大臣が、中国個人観光ビザの更なる緩和策を検討する方針を表明。
- ・前原大臣からの要望を受け、邵局長は外資系旅行会社による中国国民の海外旅行業務の取扱いについて、第1弾として日系旅行会社に試験的に開放するための制度改正を近く行う方針を表明。

#### (2) 日韓間（10/18）

- ・前原大臣と柳長官が、映画、ドラマなどの文化事業の共同実施、青少年交流の拡大について、日韓両国が協力していくことを確認。
- ・また、羽田第4滑走路や地方空港の活用など、観光交流促進のために航空路線を積極的に活用していくことを確認。

### 4. その他

歓迎晩餐会、三大臣による共同記者会見、閉幕の宴、記念植樹、観光資源視察（高山市内）、民間観光フォーラム等の行事を実施。

## 第4回日中韓観光大臣会合「共同声明」のポイント

### 【基本的な認識】

- 国際観光の役割は、世界的な景気低迷に積極的かつ効果的に対処する上で、各国の経済にとってますます重要になっている
- 新型インフルエンザの世界的流行が懸念されるところ、21世紀における東アジア観光大交流時代を迎えるためには、3ヶ国の協力体制をより強固にしていくことが不可欠である

### 【合意事項】

#### 1. 国際的な金融危機、新型インフルエンザをはじめとする現在の諸課題の克服と国際観光交流の回復に向けた取組み

- (1) 国際的な金融危機、新型インフルエンザをはじめとする現在の諸課題の克服
  - ・ 正確な情報の提供及び冷静な対応の呼びかけ
  - ・ 予防対策周知、円滑な医療提供など安心して旅行できる環境の整備
- (2) 国際観光交流の回復に向けた取組み
  - ・ 上海万博(2010)を活用した観光ルートの開発、観光プロモーション
  - ・ ビジットジャパンイヤー(2010)、ビジットコリアイヤー(2010~2012)を契機とした交流人口拡大のための取組み

#### 2. 東アジア観光大交流時代の到来への対応

- ・ 査証取得手続き、入国審査待ち時間などの制約要因の改善
- ・ 観光関係事業者のグローバルな活動の促進
- ・ 国境を越えて移動する観光客の利益の保護
- ・ 3ヶ国の観光関係事業者の団体による定期的な協議の推進
- ・ 観光案内表示の国際標準化、IT技術を活用した観光情報提供 等

#### 3. 地球温暖化問題への対応

- ・ 観光分野でも温室効果ガスの削減や資源節約型社会の実現に貢献できるよう、商品開発など様々な分野での観光関係事業者の積極的な取り組みの促進

#### 4. 次回会合等

- ・ 次回会合は2010年に中国で開催
- ・ 第6回会合は2011年に大韓民国で開催し、第7回以降は2013年から2年に1度開催